

新型コロナワクチン (mRNA) 接種に対する情報提供や適切な対応について



やまもと なお
山本 奈央 議員

町長 これまで同様に対象者へ案内する

あり、3月のWHO公表の指針は「健康な乳幼児、小児、成人等に対するさらなる追加接種は定期的には推奨しない」とされている。9月開始のX B対応ワクチンはマウスによる試験しかしていない。どのように情報提供し接種券を配布するのか町の方針を伺う。

(2) 予防接種健康被害救済制度に認定された副反応による健康被害は過去45年間の累計ワクチン接種健康被害救済制度認定件数を超えた。ワクチン接種との因果関係に気

問

(1) ワクチン接種は努力義務で

づかず疾病や障害を抱えている町民がいることも予想される。個々に判断していただくために町の考える適切な対応を伺う。

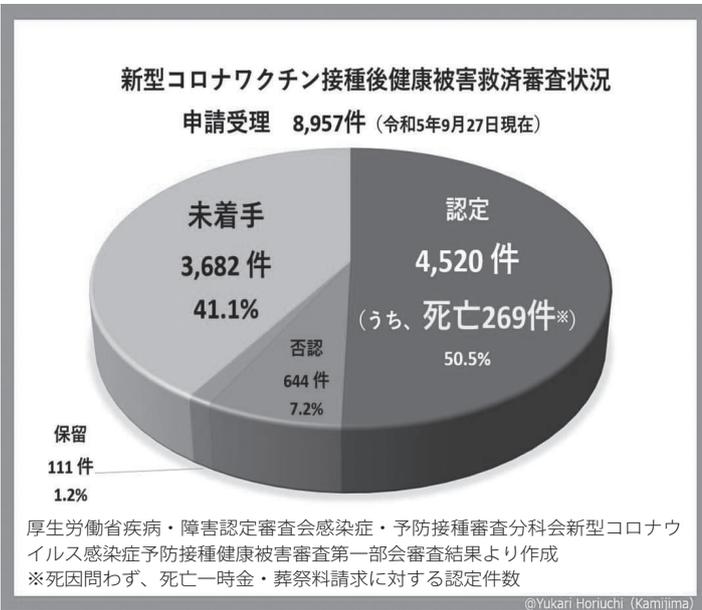
町長

(1) コロナワクチン

接種の案内については、これまで同様に対象者全員に対し、使用ワクチン、接種会場、予約方法などを掲載したチラシと接種

券、予診票を郵送予定である。

(2) 厚生労働省のホームページで公開されているコロナウイルス感染症などの情報については、大量であること、高度な専門性を含むものもあることから、町としてコンパクトにまとめることは困難である。北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センターを案内したり、町のホーム



出典：臨床薬学博士 堀内有加里 Facebook

町長

国の方向性を注視する

いわゆるLGBT理解増進法「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」施行後の清水町の対応について

ページから厚生労働省の副反応に関するページに外部リンクする形で、コロナワクチンの有効性・

安全性に関する情報やQ&A、副反応の情報なども提供したいと考えている。

問

この法律は趣旨から逸脱した過剰な主張や要求が広まり

社会の混乱を引き起こす可能性が懸念される。学校の設置者へも施策に協力するよう努めるよう書かれておりアイデンティティが確立していない児童までも対象となっていない。町は様々な問題点の理解や把握はしているか。町の施策は現時点で検討されているか町長の見解を伺う。

町長

法律が施行されて、まだ間もなく、国において政策調整する連絡会議も

8月に開催されたばかりで情報が少ない状況。現状では本町においてどのような課題があり、取り組みが必要なのか把握できていない。まずは国において今後の方向性を示し国民の理解増進を進めていく事が重要であると考える。

家畜伝染病予防対策と まちづくりについて



はしもと てるあき

橋本 晃明 議員

町長

発生させないことを基本に、対策を徹底しながら事業を行っていく

問

今年、異常気象と認定された酷暑によって、家畜、特に乳牛は体力を奪われ抵抗力が落ちており、伝染病等への感染が懸念される。

5月には隣国である韓国で口蹄疫が発生しており、コロナ禍で止まっていた海外からの観光客が戻ってきていることに注意が必要である。

本町においては、酪農・畜産が基盤産業であり、日ごろから防疫体制を維持することが重要だと思うが、気の緩みはないか。豪州並みの意識の高さを持つべきではないか。

観光事業をすすめるにあたっては、防疫対策をしっかりと取ったうえで行っているか。海外からの観光客への対策は十分か。

万が一、口蹄疫が発生した場合に備えての体制は整っているか。埋却地の確保を含めシミュレー

ションはできているか。

町長

今年は記録的な猛暑に

より牛の体調不良や乳量の低下、伝染病への感染拡大が懸念されている。農場においては伝染病が発生すると精神的、経済的負担が大きいため、町家畜伝染病自衛防疫組織において注意喚起を図っている。また、役場庁舎玄関には消毒マットを設置している。

観光事業を進めるにあたっての防疫体制では、5月に勧告で口蹄疫が発生していることから、農水省においては関係機関と連携して水際対策の徹底を図っている。海外からの来町に際しそれを差し止める規定はないが、過去1週間以内に入国した者は農場に立ち入らせないなどの規定に沿った対応をしていく。円山展望台への入口2か所の注意看板に外国語も加えた

い。口蹄疫発生に備えた体制では、年に数回の演習も行い、主に北海道の指針に沿って実施する。発生させないということを基本に、対策を徹底しながら事業を行ってきたい。



円山牧場入口看板

